



指導員資格 検定基準

Technical Fundamentals

指導員資格

指導員資格 検定基準2 コーチ2, 3の検定基準

11

一般社団法人日本バトン協会

BATON TWIRLING ASSOCIATION OF JAPAN



C2 検定について

■実技検定

技能資格グレード5～6の内容より

ボディワークから	2種類
基本操法・応用操法から	5種類
コンビネーションから	3種類

受講生は、講師が指定した内容を実施し、計10種類の合計が85点以上で合格となります。

■指導法検定

技能資格グレード1～3	より	1種類
技能資格グレード4～6	より	1種類

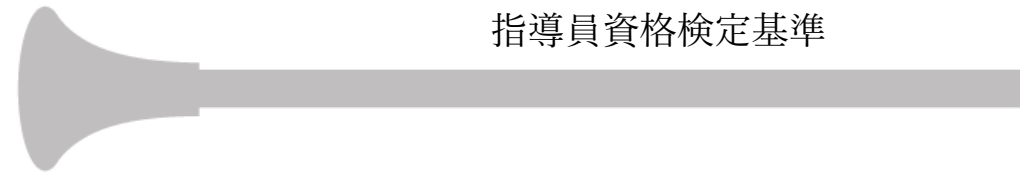
受講生は、講師が指定した内容を実施し、85点以上で合格となります。

C2 検定基準

■実技検定 採点基準

技能資格検定 (参考)	採点	評価内容	理解度 (%)	実施度 (%)	合計 (%)
A (10)	10 9.5	操法 (動作) を理解し、正確に実施できる	40	40 ~ 60	80 ~ 100
B (8)	9.0 8.5	操法 (動作) を理解し、ほぼ正確に実施できる	40	20 ~ 40	60 ~ 80
C (6)	8.0 7.5 7.0 6.5	操法 (動作) を理解しているが、実施は不安定である	40	0 ~ 20	40 ~ 60
D (4)	6.0 5.5 5.0	操法 (動作) を理解しているが、実施は不正確である	40	0	20 ~ 40
E (0)	0	操法 (動作) を理解していない	0	0	0

- ・やり直しは、原則として2回までとし、一番良くできたものを採点する。
- ・理解度を確認する。(実技にミスがあっても、理解できていれば可とする)



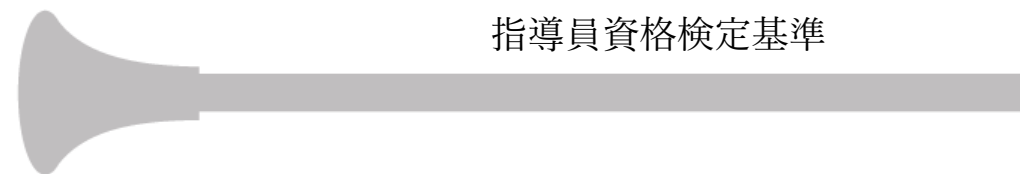
■実技検定 採点内容（チェックポイント）

- (1) 正しい姿勢・・・正しい身体の使い方、リブケイジアップ、ターンアウト
- (2) フォーム・・・適切なバトンの位置、適切な身体の向き（腕、肘、膝、爪先の位置）
- (3) 正しい操法・・・正確なバトンの回し方
- (4) グリップ・・・握り方、握る位置
- (5) リズム・・・一定のリズム、カウント
- (6) パターン・・・適切なパターン
- (7) スムースネス・・・なめらかさ
- (8) 理解度

■実技検定 エラー（マイナス要因）

- | | |
|--------------|--|
| ・違う操法を行う | …違う操法、動作 0点 |
| ・ドロップ | …ドロップ までの評価、1度も取れない場合 5.0～6.0点（理解度を加味する） |
| ・回転の過不足 | …フリップ、トスの回転数 -1～-2 |
| ・リズム、カウントが違う | …適切でないリズム、カウント -0.5～-1 |
| ・ポジション | …適切でないポジション -0.5 |
| ・逆グリップ | …グリップが反対 -0.5～-1 |

C2 検定基準



< G 1 ~ G 6 基本操法・応用操法から 2 種類 >

■指導法 採点基準

- A (90%以上) 正確に実施できている
- B (85%以上90%未満) 不足はあるが、実施できている
- C (85%未満) 実施できていない

■指導法 採点内容

- (1) 導入・模範能力・・・正しい立ち位置・正しい見本
- (2) チェックポイントの伝達・個々のトワールの説明・・・正確さ
- (3) 伝達能力・指導対象の把握・・・声の大きさ・指導態度
- (4) 指導構成・・・順序立てて説明ができているか
- (5) 時間配分・・・指定時間の過不足
- (6) まとめ

			検定日	年	月	日
パトントワーリング		受験番号	氏名		検定員	
C2 指導法検定用紙						
操法／						採点
1	導入・模範能力(正しい立ち位置・正しい見本)					A・B・C (9以上) (8.5) (8以下)
2	チェックポイントの伝達・個々のトワールの説明(正確さ)					A・B・C (18以上) (17) (16以下)
3	伝達能力・指導対象の把握(声の大きさ・指導態度)					A・B・C (18以上) (17) (16以下)
4	指導構成(順序立てて説明が出来るか)					A・B・C (18以上) (17) (16以下)
5	指導時間(2分以上3分以内・指定時間の過不足)					A・B・C (18以上) (17) (16以下)
6	まとめ					A・B・C (9以上) (8.5) (8以下)
					結果	(85点以上合格)
					合格・不合格	／100

C3 検定について

■実技検定（創作）

3曲より1曲選択し、イントロ8拍+64拍の振付を創作する。

技能資格グレード1～6までの内容で構成する。

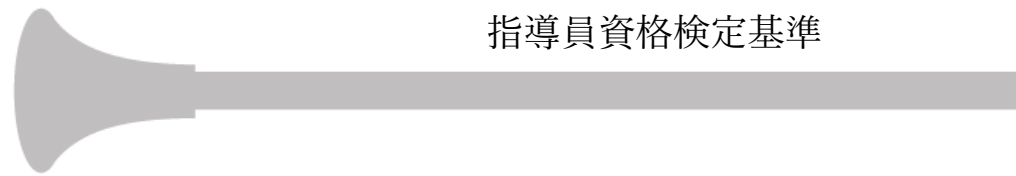
コンポジション30点、パフォーマンス30点、振付40点で、85点以上で合格となります。

■指導法検定

技能資格グレード3～6のコンビネーションより 1種類

受講生は、講師が指定した内容を実施し、85点以上で合格となります。

C3 検定基準

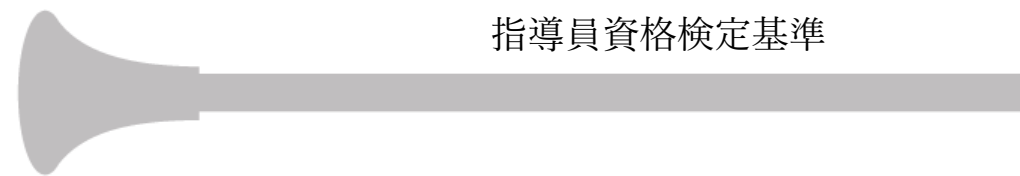


■実技検定（創作） 採点内容

- (1) コンポジション・・・内容、フロアデザイン
- (2) パフォーマンス・・・正確なテクニック
 (バトントワーリング・ボディワーク)
 ミュージカルティイー
- (3) 振付・・・・・・・・内容、フロアデザインの効果

		検定日 年 月 日	
バトントワーリング		受験番号	氏 名
C3 実技検定用紙			検定員
項 目		採点内容(チェックポイント)	採 点
創 作	1 コンポジション	・内容、フロアデザイン	／30
	2 パフォーマンス	・正確なテクニック(バトントワーリング) ・正確なテクニック(ボディワーク) ・ミュージカルティイー	／30
	3 振 付	・内容、フロアデザインの効果	／40
		結 果	(85点以上合格)
		合 格 ・ 不 合 格	／100

C3 検定基準



< G 3 ~ G 6 コンビネーションから 1 種類 >

■指導法 採点基準

- A (90%以上) 正確に実施できている
- B (85%以上90%未満) 不足はあるが、実施できている
- C (85%未満) 実施できていない

■指導法 採点内容

- (1) 導入・模範能力・・・正しい立ち位置・正しい見本
- (2) チェックポイントの伝達・個々のトワールの説明・・・正確さ
- (3) 伝達能力・指導対象の把握・・・声の大きさ・指導態度
- (4) 指導構成・・・順序立てて説明ができているか
- (5) 時間配分・・・指定時間の過不足
- (6) まとめ

			検定日	年	月	日
バントワーリング		受験番号	氏名		検定員	
C3 指導法検定用紙						
操法						採点
1	導入・規範能力(正しい立ち位置・正しい見本)					A・B・C (9以上)(8.5)(8以下)
2	チェックポイントの伝達・個々のトワールの説明(正確さ)					A・B・C (18以上)(17)(16以下)
3	伝達能力・指導対象の把握(声の大きさ・指導態度)					A・B・C (18以上)(17)(16以下)
4	指導構成(順序立てて説明が出来るか)					A・B・C (18以上)(17)(16以下)
5	指導時間(4分以上5分以内・指定時間の過不足)					A・B・C (18以上)(17)(16以下)
6	まとめ					A・B・C (9以上)(8.5)(8以下)
						結果 (85点以上合格)
						合格・不合格 /100